

連絡先：〒240-0113 葉山町長柄1617-12 TEL/FAX 046-875-6925

2020/01/15 第08号

今年の葉山町の課題は何か、私のやるべきことは何か。

● 安心して住みよい持続可能な葉山のまちづくり



タウンニュース元旦号に「現在の公共施設を現状のまま全て維持する場合、今後40年間の大規模改修および更新費用の総額は326億3千万円という試算がでました」という山梨町長のインタビュー記事が載っていました。

この数字が葉山町にとってどのような意味を持つか？それは「年間の更新費用は8億2千万円だが、直近5年平均の投資的経費4億7400万円の1.7倍の負担となり、3億4600万円不足する」という、一

般会計予算約100億円の葉山町にとって大変厳しい数字だということを意味しています。

詳細は2月議会で説明するとのことですが、日本経済の低迷と今後確実に見込まれる人口減少による減収という状況を見据えて、どのように政策判断をするか。持続可能な住みよい葉山のまちづくりのために、避けて通れない困難な課題と考えています。

一方、当面の大きな課題として、給食センターの整備とクリーンセンターの再整備・ごみの資源化(堆肥化)施設の整備という2つの事業があります。これらの事業だけで、30億円規模の経費が必要になるのではないかと考えられます。

昨年の選挙の際、これからは必要な事業もできなくなる時代が来ると訴えてきましたが、町民の生活に密接に関わるたくさんの事業がある中で、どう政策判断をしていくか。町長と、そして議会の仲間としっかり議論し、知恵を出し合い、工夫をしていかなければならないと思っています。🍀

● 地球温暖化と災害対策

昨秋の台風15号と19号は、私たちに災害への備えの大切さについて多くの示唆と教訓を与えてくれました。

大雨と強風が大地震以上の破壊力を持って、私たちの財産・生命、そして平穏な生活を奪ってしまうことを知りました。繰り返し襲う巨大気象災害は、日本の国土と国力を疲弊させ、私たちが享受してきた豊かな生活を脅かし、食料や必要な物が十分確保できない時代が来はしないかと思っています。私は甚大な気象災害時代が始まったと懸念しています。

災害対策は、今年最優先に取り組まねばならない課題と考えています。町長も災害対策を第一に掲げています。まずは、今年の台風時期までに何をやるべきか、何ができるか、しっかり見極め予算化することが大事です。

災害というと、大地震を中心に想定してきましたが、毎年やって来る台風で、屋根瓦が飛ばされるなどの被害がたくさん発生しました。各ご家庭でも、雨と風の被害を防止するためにやっておくべきこと



は無いが、チェックされることをお勧めします。

新年を迎えて、オリンピック・パラリンピックの話題が賑やかに取り上げられていますが、私は、地球温暖化による気象災害の激化、国際情勢の緊迫化、日本経済の低迷、経済格差の拡大そして今後の人口減少のことが、非常に気になっています。

安心して住みよい、持続可能な葉山のまちづくりのため、皆様のご意見を聞かせていただきながら、与えられた務めを果たしていこうと思っています。

今年も、どうぞよろしくお願いいたします。🍀

～認知症になっても自分らしい生活をおくるには～

1月11日のNHKのテレビ番組『認知症の第一人者が認知症に』を見ました。これは、認知症研究の第一人者である長谷川和夫・聖マリアンナ医科大学名誉教授が認知症になった様子を描いたドキュメンタリー番組です。

認知症になってからも、講演等社会的な活動をしている先生の姿を見て、認知症に対する認識を改めた方も多いのではないのでしょうか。先生の生活振りはご家族の対応を含めて素晴らしいものでした。とはいえ、私自身、福祉行政の立場から30年以上前から認知症と関わりをもち、認知症に様々な症状があることを学んできましたが、ひとくちに認知症とはいっても、実に様々な症状と困難な介護の実態があるのが現実です。

ところで、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症、90歳を超えると60%以上が認知症という調査結果があります。

認知症の予防に皆さん関心をお持ちのようですが、決定的な予防方法は見つかっていません。一般にいわれている予防方法は、基本的には成人病

予防に有効な食事と運動、意欲的な生活、社会とのつながりをもつといったような内容です。

誰もが認知症になる可能性があります。予防を心がけるのも大事ですが、それ以上に、認知症になった場合のことを想定して、ご家族や友人と日頃から話し合い、もし認知症になったときは助け合える関係をつくっておくこと、そしてご自分は認知症の現実を受け入れられるよう備えておくことが大事だと考えています。多くの場合、認知症の正しい理解と本人への接し方次第で、症状も介護の負担も大きく変わります。

認知症になると、すぐ何も分からなくなるわけではありません。認知症になっても、最後までその人らしい生活を送ることができるよう、ご家族や友人と記憶力の衰えなどを言ったり指摘したりできる気安い関係を、認知症でない今からつくっておきましょう。



活動 ～これまで、これから～

- ・ 年が明けて、1月4日の葉桜自治会の新春の集い、1月6日の葉山町の新春の集いに始まり、推薦をいただいた各労働組合の新春の集いに出席して挨拶をさせていただきました。このあとも、葉山町職員労働組合などいくつかの新春の集いが予定されています。
- ・ 2月13日から3月19日までの予定で、葉山町議会の令和2年第1回定例会が開催されます。この議会は、新年度(令和2年度)の予算を審議する大事な場となります。本年度(令和元年度)の予算書や会議録を読み込むなど、しっかりと備えたいと思っています。

ひょうたんランプ



中村かずお プロフィール

葉山町議会議員 1942年生まれ 横浜国大経卒
元 横浜市理事・横浜市福祉サービス協会専務理事 元 葉山町町内会連合会長・葉桜自治会長
現 社会福祉法人であいの会理事長・葉桜自治会会計担当

連絡先：〒240-0113 葉山町長柄1617-12 TEL/FAX 046-875-6925
Email: 170202kn@ozzio.jp URL: <https://www.nakamurakazuo.com/>

